

# こうち子ども観光大使選抜講座3 盛会御礼新聞 龍河洞

平成29年7月1日

こうち子ども観光大使選抜講座

## 7月1日 雨の龍河洞

こうち子ども観光大使の選抜講座③は龍河洞。天気はあいにくの雨。約1週間、降り続いた雨が残っていた。しかし、選抜講座の方には定員30名に対して32名の児童が参加。満員御礼だ。保護者も合わせると合計63名。一人の欠席も無し。本当にありがたい。集まって下さった親子一組一組を駐車場で出迎える。すっかり顔なじみの方々だ。

観光大使の基本である「挨拶」がしっかりとできる。その堂々とした姿勢が本当に嬉しい。さて、今回は高知県が世界に誇る【龍河洞】で洞窟探検だ！雨は小雨状態に。ただ空が重い。ところが、車を降りてきた保護者がひと言。「先生、これは洞窟内の滝が見事にきれいですよ！」超プラス思考の言葉に元気をいただく。



## ワクワクの講座スタート！

龍河洞保存会の会長・岡崎さんの挨拶後、3グループに分かれて洞内へGO。長い長いエスカレータを昇っているだけで児童のテンションは最高潮へ。洞窟の入り口から涼しい風が流れてくる。



洞内の気温は16℃だそう。あまりの涼しさにキャツキャツと騒ぐ子ども観光大使。ガイドさんに案内されて洞窟内へ。そこから約1時間15分の暗闇探検。



雨の影響で上から大量の雨が落ちてくる15分ほどで全身がビショビショに濡れた。さらに、

最初は涼しかった洞窟内も、高い湿度のせいで一気に蒸し暑くなってきた。汗もポタポタ。そんな状況の中、ガイドさんの話を熱心にメモする子ども観光大使がいた。

ガイドさんの話を聞き漏らさないぞという気迫を感じた。龍河洞内には、いくつもの滝がある。今回は、約一週間降り続いていた雨の影響で水量が大幅に増えていた。その迫力ある水の音、水しぶき。それを見た1年生は「龍河洞おもしろい！でも、コウモリがこわい！」



この迫力ある光景こそ、梅雨にしか見ることができない龍河洞の姿である。さて、滝以外にも洞内には沢山の名所がある。マリア様、坂本龍馬と名付けられた鍾乳石など。そんな中、児童に一番人気だったのは【神の壺】であった。約2千年前の弥生人が洞内の一部を利用して住んでいたそう。その時、利用していた壺が炭酸カルシウムに包まれて化石のような状態になっていた。

この神の壺は表示が無ければ確実に見落としてしまいそうな程、自然と同化していた。このような例は、世界でも高知県の龍河洞でしか見ることができない超一級の資料だそう。無事に脱出！



講座終了後も・・・併設されている珍鳥センターに寄って、尾長鶏を見てきた親子がいた。お母さんは語る。「私は高知県にずっと住んでいて、初めに入りました。尾長鶏の本物も初めて見ました。」高知県は特殊鶏の産地として有名であるが、地元だからこそ沢山訪問して欲しい施設の一つだ。感想より（一部抜粋）



約1時間15分をかけて無事に脱出。ここから山道を下山する。途中、古代染料である山藍などを観察しながら下りてきた。さすがに疲れているだろうと思ったら信じられない言葉が・・・「先生、もう一回行きたい！」なんと元気な子どもたち。今年のは引率の保護者の方々も、ほとんどが一緒に洞内探検に参加してくださった。大人も子どももビショビショ。それでも充実感が漂う素敵な表情であった。

- ・小さい時に1回来たことがありました。その時は、高いのが怖くて怖くて。今、来てみると鍾乳洞の色々な形を人などに例えていて面白かったです。
- ・コウモリがおらんかったのは残念でした。
- ・今日の探検で、とても貴重な物を見たり、さわったりできていい体験になりました。
- ・上から水滴が落ちてきて、すごく濡れた。
- ・名所を見ながら勉強できて楽しかった。
- ・滝は迫力があって、すごく印象に残った。
- ・また、来たい。

